

農業改革実現に向けた園芸研究所の取り組み

新たな茨城農業改革を推進するため、研究の重点化と効率化を図るとともに関係機関等との連携を強化して、産地の発展に貢献できる技術の速やかな開発と普及を図ります。

1. 連携強化による新品種の栽培技術の確立と新技術の開発

- 長期どりトマトの高品質・多収穫技術を確立するため、高軒高ハウスを利用した環境制御技術及び整枝管理技術を開発します。
- オリジナルナシ新品種「恵水」の高品質・多収穫技術を確立し、普及面積を拡大します。
- 野菜、花き栽培において、効率的な炭酸ガス施用技術を開発し、生産性の向上を図ります。
- 様々なニーズの把握と分析を行い、研究課題の重点化と研究室間の連携を図り、普及性の高い体系化した技術を確立します。
- 農業総合センターの新品種育成普及プロジェクトチームと技術体系化チームの一員として、新品種の迅速な普及推進のための栽培技術の確立、生産者等と一体になった緊急的課題解決のための現場開発型研究を行います。
- つくば地区の独立行政法人の研究機関と連携し、現場で確実に活用できる実用化技術の開発を進めます。



高軒高ハウスでのトマト栽培



日本ナシ「恵水」

2. 消費・流通・加工サイドのニーズを踏まえた研究の推進

- 消費者、実需者、生産者等から幅広い意見を取り入れ、生産から販売に至る課題を明確にし、高品質で付加価値が高く、消費者に喜んで買ってもらえる安全・安心な農産物の生産から流通・販売までの技術開発を進めていきます。
- 鮮度保持や食べごろ判定、長期貯蔵など、収穫後の管理により高品質化を図ります。
- 新品種の加工適性や農産物の一次加工技術を開発し、付加価値をつけた消費拡大を目指します。
- 「おいしさ」を科学的に追求し、おいしい野菜を生産するための栽培技術につなげます。



凍結シャインマスカット